

●新型コロナワクチン接種 3

■妊娠中・授乳中の方へ：

当院では妊娠中、授乳中の方に mRNA ワクチン接種（ファイザー社製のコミナティ筋注）を行います。

1) 妊娠中の方：

産婦人科の関係学会は、海外における多くの妊婦への mRNA ワクチンの接種実績から、ワクチンは妊娠初期から妊婦と胎児の双方を守り、重篤な合併症が発生したという報告はないとしています。また妊娠中のいつの時期でも接種可能としています。

妊娠中に新型コロナウイルスに感染すると、特に妊娠後期は重症化しやすいとされています。

2) 授乳中の方：

授乳中の方も mRNA ワクチンを接種することができます。mRNA ワクチンの成分そのものは乳腺組織や母乳に出てこないと考えられています。

授乳中に mRNA ワクチンを受けた方の母乳中に新型コロナウイルスに対する抗体が確認されています。こうした抗体が授乳中の子供を感染から守る効果があることが期待されています。

3) 副反応での解熱鎮痛剤の使用について：

妊娠中の方の場合は A)アセトアミノフェン（カロナール）は使用できますが、B)イブプロフェン C)ロキソプロフェン（ブルフェン、ロキソニン）の妊娠後半期の使用はできません。

授乳中の方の場合は A)B)C)ともに安全に使用できます。

※上記内容は厚労省 HP「新型コロナワクチン Q&A」、国立成育医療研究センターHP、伊藤真也、村島温子著：薬物治療コンサルテーション「妊娠と授乳」から引用しました。